

様 式 F-7-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成25年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 補助事業期間 平成25年度～平成28年度
5. 課題番号

2	5	8	7	0	4	0	9
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 ハワイ語ラジオ番組の相互行為分析

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
9 0 6 0 9 3 7 2	フルカワ トシアキ	文学部	助教
	古川 敏明		

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

本研究は危機言語のドキュメンテーションに相互行為の視座を導入し、非伝統的な制度的場面であるラジオ・トークショーというメディアにおけるやり取りを相互行為として捉えなおして分析し、言語使用理論への寄与と言語共同体への支援を深化させることを目指すものである。平成25年度の研究計画として(1)「録音資料の分類、整理、文字起こし」と(2)「文字起こしたデータの分析」を設定した。それぞれの実績の概要を述べる。

まず、(1)「録音資料の分類、整理、文字起こし」については、ハワイ語ラジオ番組カ・レオ・ハワイの全400回分のカタログを参照して放送日や出演者などについての基本的な情報の一覧表を作成し、今後の研究に向けて利便性を高めた。この一覧表を利用し、研究協力者（2名）に文字起こしを依頼した。平成23-24年度研究活動スタート支援の助成期間中は1名の研究協力者から文字起こしの協力を得ていたが、H25年度の年度末からもう1名の研究協力者から協力を得ることになり、これまで以上に文字起こしデータを蓄積できる見通しが立った。平成25年度までに10回分の放送の文字起こしが完了している。

次に、(2)「文字起こしたデータの分析」については、研究代表者がデータの予備的な分析を行った。必要に応じて、かつてカ・レオ・ハワイのパーソナリティーを務めていたハワイ大学ヒロ校の研究協力者に電子メールでの問い合わせを行うなどして分析を補った。また、成果の一部を国際学会で口頭発表し、関連論文を国際学術誌に投稿した。